

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	画像検査学 (Clinical Imaging Technology)		
ナンバリングコード	S20332	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S009251	クラス名	-
担当教員名	佐野 成雄、衛藤 路弘		
履修上の注意、履修条件	臨床検査学コースの学生は必ず履修し、全ての授業に出席すること。 原則として指定した教科書に準じて授業を行うが、補足の資料を配布する。 難解な内容のため、必ず予習をしておくこと。 授業の3分の2以上に出席していない者には、期末試験の受験資格を与えない。 レポート等の提出物は指示された方法で期限内に提出すること。期限を過ぎたら受理しない。		
教科書	最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 (医歯薬出版株式会社、2023)		
参考文献及び指定図書	病気がみえるvol.2循環器 第5版 (MEDIC MEDIA、2021) 心臓超音波テキスト 第3版 (医歯薬出版、2021) 日超検 腹部超音波テキスト 第3版 (医歯薬出版、2024) 臨床検査技師国家試験問題集 (医歯薬出版)		
関連科目	解剖学、生理学、臨床生理検査学1、臨床生理検査学2、画像検査学実習		

○基本情報		
授業の目的	画像検査の特徴を理解する。 1.超音波検査について測定原理、検査手技および正常と各疾患の画像の特徴を説明できる。 2.磁気共鳴画像検査について測定原理、測定手技および正常と各疾患の画像の特徴を説明できる。 3.熱画像検査について測定原理、測定手技および正常と高温・低温相を示す疾患を説明できる。	
授業の概要	(概要) 生体内部の臓器や組織を画像として抽出し臨床診断に用いる検査法である超音波検査、磁気共鳴画像検査について学ぶ。超音波検査では超音波の性質を理解し、装置の構造と操作法、各臓器における検査手技および解析方法を学ぶ。磁気共鳴画像検査では、原理を理解し機器の構造と操作法、各臓器における検査手技および解析方法を学ぶ。また、それぞれの検査による異常所見と疾患の関係を学修する。熱画像検査について測定原理、測定手技および解析方法を学ぶ。 (オムニバス方式／全15回) (佐野成雄／12回) 超音波検査、熱画像検査 (衛藤路弘／3回) 磁気共鳴画像検査	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	佐野成雄(臨床検査技師): 生理機能検査全般(臨床経験38年) 衛藤路弘(診療放射線技師): MRI検査の実施、判読	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	80点	20点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
・期末試験(80 %)と提出物(20 %)で評価を行う。 ・提出物(課題レポート・確認テスト)のフィードバックは、次回以降の授業内等で適宜行う。 ・期末試験を1回実施する。	

○その他	
・講義はup-to-dateなものとするため、講義日程を変更する場合がある。 ・進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をする場合がある。 ・講義内容についての質問・要望等は、講義前後に教室で受け付ける。 ・学習相談は、授業終了後もしくはオフィスアワーの時間帯に担当教員の研究室で行う。	

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	画像検査学 (Clinical Imaging Technology)	授業コード	S009251
担当教員		佐野 成雄、衛藤 路弘		
学修内容				
1. 超音波検査1(佐野)				
超音波検査(1)授業のガイダンス、超音波検査の基礎について学修する。				
予習	超音波検査の基礎について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
2. 超音波検査2(佐野)				
超音波検査(2)心臓超音波検査の基本的画像について学修する。				
予習	心臓超音波検査の基本的画像について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
3. 超音波検査3(佐野)				
超音波検査(3)心機能評価について学修する。				
予習	心機能評価について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
4. 超音波検査4(佐野)				
超音波検査(4)心疾患における超音波所見について学修する。				
予習	心疾患における超音波所見について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
5. 超音波検査5(佐野)				
超音波検査(5)腹部超音波検査の基本的走査、肝臓超音波検査手技と解析について学修する。				
予習	腹部超音波検査の基本的走査、肝臓超音波検査手技と解析について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
6. 超音波検査6(佐野)				
超音波検査(6)胆嚢、膵臓超音波検査手技と解析について学修する。				
予習	胆嚢、膵臓超音波検査手技と解析について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
7. 超音波検査7(佐野)				
超音波検査(7)体表(甲状腺、副甲状腺、乳腺)超音波検査手技と解析について学修する。				
予習	体表(甲状腺、副甲状腺、乳腺)超音波検査手技と解析について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間
8. 超音波検査8(佐野)				
超音波検査(8)骨盤腔超音波検査手技と解析について学修する。				
予習	骨盤腔超音波検査手技と解析について予習する。			約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	画像検査学 (Clinical Imaging Technology) 佐野 成雄、衛藤 路弘	授業コード S009251
学修内容			
9. 超音波検査9(佐野) 超音波検査(9)血管(頸動脈、下肢静脈)超音波検査手技と解析について学修する。			
予習	血管(頸動脈、下肢静脈)超音波検査手技と解析について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
10. 超音波検査10(佐野) 超音波検査(10)その他領域の超音波検査と超音波検査全体のまとめ。			
予習	その他領域の超音波検査について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
11. 磁気共鳴画像検査1(衛藤) 磁気共鳴画像検査(1)機器の構造と操作および手技について学修する。			
予習	機器の構造と操作および手技について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
12. 磁気共鳴画像検査2(衛藤) 磁気共鳴画像検査(2)臓器別検査について学修する。			
予習	臓器別検査について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
13. 磁気共鳴画像検査3(衛藤) 磁気共鳴画像検査(3)画像の解析について学修する。			
予習	画像の解析について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
14. 熱画像検査(佐野) 熱画像検査機器の構造と操作法および画像の解析について学修する。			
予習	熱画像検査機器の構造と操作法および画像の解析について予習する。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
15. まとめ(佐野) 第1回～第14回の講義の総括(補足を含む)をする。			
予習	第1回～第14回の講義で補完すべき内容をまとめる。		約2時間
復習	教科書、配布資料、授業中のメモ等を基に学修内容をまとめる。		約2時間
16. 期末試験 学修した内容について筆記試験を実施する。			
予習			
復習			